

藤岡市小規模建築工事における品質管理要領

1. 材料の品質管理

①使用材料等確認願（建：1.4.2、電・機：第1編1.4.2）

- ・工事で使用する材料及び機器（以下「使用材料等」という。）については、設計書、設計図書（公共建築工事標準仕様書・特記仕様書）（以下「設計図書等」という。）にその品質、性能が規定されており、一般的な工業製品は日本産業規格（JIS）で、木材等の林産物は日本農業規格（JAS）が指定されています。
- ・使用材料等の品質は、公共建築工事標準仕様書では、設計図書等に定める品質性能を有する新品としています。
- ・使用材料等確認願には、設計図書等に定める品質性能を証明する資料を添付します。ただし、JIS、JASマークが表示された材料等については、品質性能を証明する資料を添付する必要はありません。（JIS、JASマークが表示された材料等であることを示す資料の添付は必要になります。）
- ・添付する資料の内容等は受注者にゆだねられており、監督員は添付された資料が妥当なものかどうかを判断します。

②工事材料等搬入報告書（建：1.4.3、電：第1編1.4.3、機：第1編1.4.4）

- ・使用材料等を現場に搬入したときは、現場代理人は、藤岡市建築工事品質管理要領（材料）の「品質確認方法と材料受入時検査項目」を参考にし、使用材料等が、設計図書等に規定されている品質、性能及び数量を満たしていることを速やかに検査（受入時検査）します。
- ・材料受入時検査で使用材料等の品質、性能及び数量の確認ができたときは、現場代理人は速やかに「工事材料等搬入報告書」により、監督員に報告します。
- ・主任技術者は、受入時検査により品質管理を行っている状況を写真撮影により記録します。

③材料等検査願（建：1.4.4、電：第1編1.4.4、機：第1編1.4.5）

- ・現場代理人は、工事現場に搬入した使用材料等のうち主要な材料について「材料等検査願」により、監督員の検査を受けます。なお、どの使用材料等が主要な材料であるかは、工事によって異なるため、一律に定めることは出来ません。そのため、主要な材料が何であるかをあらかじめ監督員と相談のうえ決めておくといえます。

2. 施工の品質管理（一工程の施工の管理）

「一工程の施工」とは、施工の工程において、同一の材料を用い、同一の施工方法により作業が行われる場合で、監督員の承諾を受けたものをいいます。

①一工程の施工の事前確認

- ・現場代理人又は主任技術者は、工事に着手する前に、各一工程の施工を監督員に報告し、承諾を受けます。

②一工程の施工の確認及び報告（建：1.5.4、電：第1編1.5.2、機：第1編1.5.3）

- ・主任技術者は、設計図書に定められた場合又は一工程の施工を完了した場合は、藤岡市建築工事品質管理要領の「管理要点」、「管理方法・管理基準」（施工）を参考にし、一工程の施工に係る品質管理を行い、「一工程の施工の確認報告書」により監督員に報告します。
- ・主任技術者は、一工程の施工に係る品質管理を行っている状況を写真撮影により記録します。

③施工の検査（建：1.5.5、電：第1編1.5.3、機：第1編1.5.4）

- ・設計図書に定められた場合又は「一工程の施工の確認報告書」の提出を受けた場合は、監督員が検査します。検査の結果、合格した工程と同じ材料及び工法により施工した部分は、以後、抽出検査とすることができます。

(監督員)

様

受注者

印

設計書に記載された「名称」及び使用するメーカー名、製品名若しくは材料名等を記載する。

使用材料等確認願

設計図書に定める品質性能を証明する資料として、メーカーカタログ、JIS規格証明書、仕様書等を添付する。

工事名 ○○庁舎改修工事

使用する材料・機材について、下記の通り提出しますので、確認願います。

記

材料・機材名	品質、性能 規格、基準、寸法等	添付資料の種類	備考
ウレタン平場用防水材 (株)○○防水 製品名 UT-Hb	JIS 主剤 9kg、硬化剤 18kg	メーカーカタログ	
○○石膏(株) 石膏ボード	JIS GB-R t=12.5 1800× 900 不燃材 F☆☆☆☆	J I S 規格証明資料	
ビニル壁紙 (株)○○○○ 品名：K-200220	JIS 準不燃材 F☆☆☆☆ 1.8m 幅	メーカーカタログ	
○○電材(株) VVF ケーブル	JIS 2.0-3C	J I S 規格証明資料	
LED 照明 (株)○○電工 型式：LED405200	公共施設型番 LSS9-4-48 天井直付型 40形 5200 1m 昼白色	仕様書	
(株)○○○管材 硬質塩化ビニル管 VP	JIS 25φ	メーカーカタログ	
空冷ヒートポンプエア コン (株)○○○○空調 型番：ACP202072	冷房能力 7.2kW	仕様書	

※ 材料等の品質、性能等の証明となる資料を添付すること。

記入例

年 月 日

(監督員)

様

受注者

使用材料等確認願 及び 監督員が指定した材料等を記載する。(主要材料は必ず報告する。)

印

工事材料等搬入報告書

工事名 ○○庁舎改修工事

使用材料等確認願に添付した資料や納入伝票等を用い、材料等に所定の品質性能あることを目視で確認・計測・照合する。

下記材料・機材を搬入し、確認したので報告します。

目視で設計書の数量を満たしていることを確認する。

記

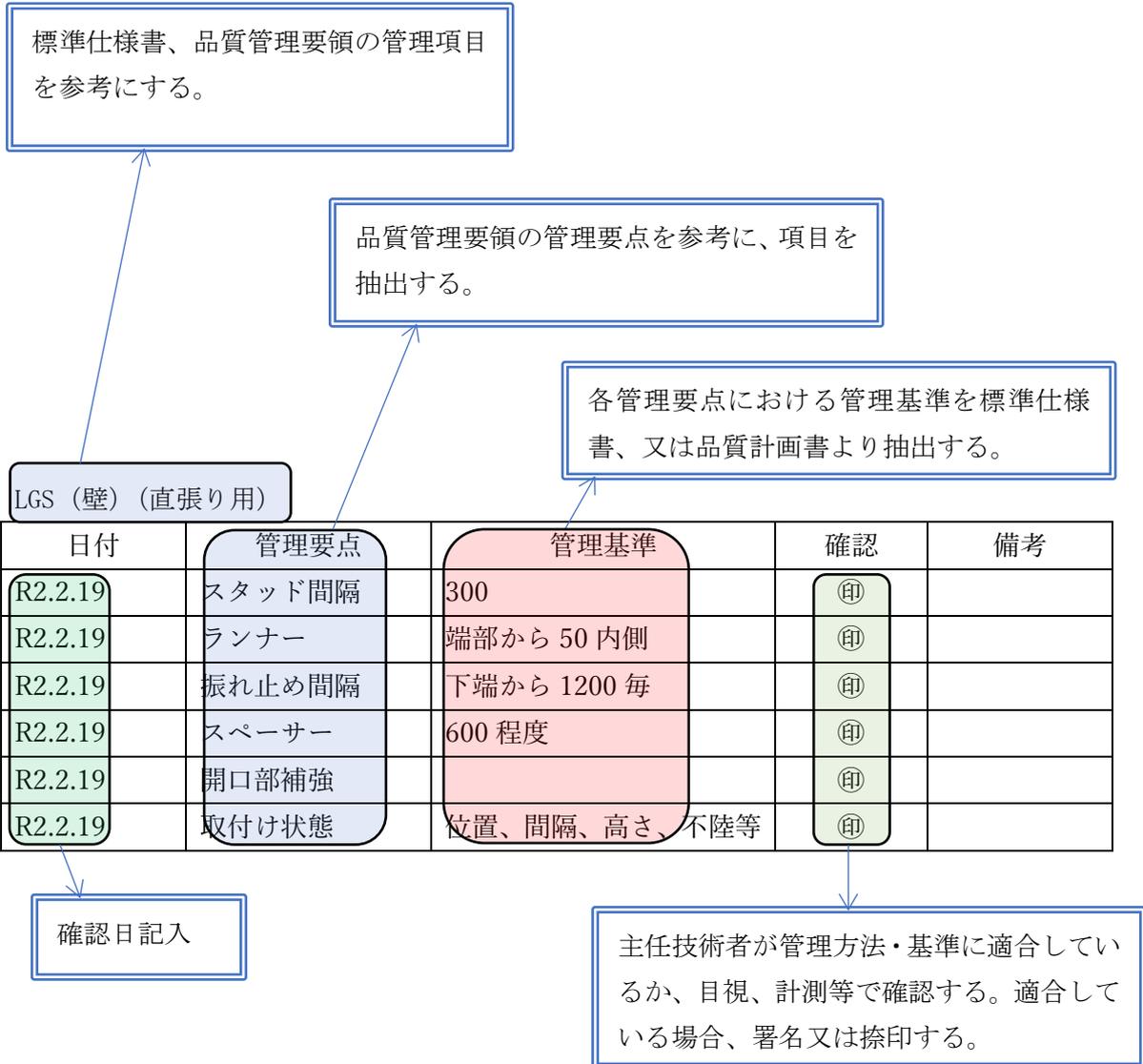
搬入年月日	品名・材料名	規格 形状・寸法	数量	確認	備考
R2. 2. 12	ウレタン平場用防水材料 (株)○○防水 製品名 UT-Hb	JIS 主剤 9kg 硬化剤 18kg	20 セット	Ⓜ	
R2. 2. 18	○○石膏(株) 石膏ボード	JIS GB-R t=12.5 1800×900 不燃材 F☆☆☆☆	10 枚	Ⓜ	
R2. 2. 18	ビニル壁紙 (株)○○○○ 品名：K-200220	JIS 準不燃材 F ☆☆☆☆ 1.8m 幅	10 m	Ⓜ	
R2. 2. 18	○○電材(株) VVF ケーブル	JIS 2.0-3C (100m/束)	100 m	Ⓜ	自主検査で合格した場合、主任技術者が捺印する。
R2. 2. 18	LED 照明 (株)○○電工 型式：LED405200	公共施設型番 LSS9-4-48 天井直付型 40 形 5200 1m 昼白色	7 台	Ⓜ	
R2. 2. 18	(株)○○○管材 硬質塩化ビニル管 VP	JIS 25φ (4m/ 本)	20 m	Ⓜ	
R2. 2. 25	空冷ヒートポンプ 式エアコン (株)○○○○空調 型番：ACP202072	冷房能力 7.2kw	1 基	Ⓜ	

※ 主任技術者又は監理技術者は、納入した材料又は機材について設計図書に定める仕様であること等を確認（自主検査）し、確認欄に捺印すること。

※「数量」が設計書に記載されている長さ、面積、体積等の数量と単位が異なる場合は、換算した計算書を添付すること。

参考例

品質管理記録（建築）



※ 管理要点について管理基準を満たしていることがわかるように、写真撮影により記録する。

※ 書式は任意です。

品質管理記録（設備）

標準仕様書、品質管理要領の管理項目を参考にする。

品質管理要領の管理要点を参考に、項目を抽出する。

各管理要点における管理基準を、標準仕様書、又は品質管理計画書より抽出する。

管の接合（ビニル管）

日付	管理要点	管理方法・基準	確認	備考
R2.2.28	切断面	直角に切断、切り口の平滑	Ⓜ	
R2.2.28	異物	異物の付着がないこと	Ⓜ	
R2.2.28	接合部油脂分除去	受け口の油脂分等の除去	Ⓜ	
R2.2.28	差込長さ	マーキング	Ⓜ	
R2.2.28	接着剤	均一に塗布	Ⓜ	
R2.2.28	保持時間	しばらく保持	Ⓜ	

確認日記入

主任技術者が管理方法・基準に適合しているか、目視、計測等で確認する。適合している場合、署名又は捺印する。

※ 管理要点について管理基準を満たしていることがわかるように、写真撮影により記録する。

※ 書式は任意です。